

こんなことが決まりました	2
委員会の報告	3
ここが聞きたい 12人が一般質問	5
議会報告会	11
議会レポート	12
議長交際費・政務活動費の公表	13

かに  
市議会  
だより

2014.8.1 第52号



## 中学校校舎大規模改造事業 (空調設置工事費) 1億3000万円の増額を 含む一般会計補正予算案を可決

\* 詳細については、次ページ予算決算委員会の内容をご覧ください

### 提出された議案と審議結果



今回提出された議案は、承認を求めるものが3件、予算関係1件、条例関係5件、人事関係3件、請願2件、その他3件、委員会提案2件で、請願1件以外はすべて原案のとおり承認、同意、可決、採択しました。

番号	件名	結果	番号	件名	結果
承認	1 税条例の一部改正の専決処分	◎	議案	40 人権擁護委員候補者の推薦	◎
	2 都市計画税条例の一部改正の専決処分	◎		41 旧慣による公有財産の使用廃止	◎
	3 国民健康保険税条例の一部改正の専決処分	◎		42 市道路線の廃止	◎
議案	32 平成26年度一般会計補正予算(第1号)	○	43 市道路線の認定	◎	
	33 非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	◎	請願	3 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願	◎
	34 税条例等の一部改正	○		4 集団的自衛権の行使容認に反対する請願	△
	35 幼稚園の設置等に関する条例の一部改正	◎	発委	3 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	◎
	36 福祉センターの設置及び管理に関する条例	○		4 集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書	◎
	37 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	◎		【結果の表示記号】 ◎全会一致で承認・同意・可決・採択 ○賛成多数で可決 △賛成少数で不採択	
	38 監査委員の選任	◎			
	39 二野財産区管理委員の選任	◎			

### 6月定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件等は、全会一致で可決しました。

	伊藤 壽	出口 忠雄	板津 博之	山口 正博	伊藤 英生	佐伯 哲也	川上 文浩	山田 喜弘	澤野 伸	酒井 正司	川合 敏己	天羽 良明	野呂 和久	山根 一男	中村 悟	小川 富貴	伊藤 健二	富田 牧子	亀谷 光	可児 慶志	林 則夫
議案第32号 平成26年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号 税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
議案第36号 福祉センターの設置及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
請願第4号 集団的自衛権の行使容認に反対する請願	●	●	●	●	○	●	-	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●

※○は賛成、採択 ●は反対、不採択 ※議長(川上文浩)は、採決に加わらない

### 請願の結果一覧

請願名	請願者	委員会意見・結果	付託委員会	本会議
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願	全国B型肝炎訴訟名古屋弁護団 代表 増田聖子	現在の救済措置では不十分であり、医療行為による多数の感染被害者に一日も早く救いの手をさしのべるべき。	教育福祉	採択
集団的自衛権の行使容認に反対する請願	玉置 隆雄	総論としては賛成できるが、趣旨の中身に同意できない部分が多々あるので、反対。	総務企画	不採択

# 第2回定例会

## 予算決算委員会

今期定例会では、平成26年度補正予算1件について審査した結果、適正と認め賛成多数で原案を可決しました。

### 中学校校舎大規模改造事業

**委員** 補正後の額が、当初予算の184.4%となつていているが、当初予算要求において、基本設計による概算工事費を考慮せずに決めたのか。

**教育総務課長** 予算要求は、国の補助基準単価による積算で行っており、基本設計による概算工事費を考慮していなかった。  
**委員** 補正理由の1つである物価の上昇について4400万円とあるが、人件費および物価上昇分はどれくらいか。

## 教育総務課長

人件費は約7%、製品は約2割上昇している。

**委員** 今回は予算の積算時の見込み違いがあったが、今後の再発防止策については。

**企画経済部長** 予算要求、予算査定段階で「大規模事業は、設計に基づく事業費が確定してから予算措置を行う」等、4つの再発防止策を講じていく。



エアコン設置工事が始まる中学校

### 〇〇討論〇〇

**反対** 昨今の暑さからエアコン設置は必要であるが、使用開始の来年の夏まで

には、まだ時間的な余裕もあり十分な審議が必要である。

また、補正予算案の理由を市民に広報しないという点においては、市民に説明すべきである等の理由から反対。

### 賛成

子ども達の勉強しやすい環境を整えることは大切であり、物価上昇や社会情勢の変化、積算上のミスもあり1億3千万円と補正額は大きいですが、日本一の義務教育のまち可見市を具現化するため教育環境確保の点からエアコン設置は必要であり賛成。

この審査の過程において各委員から出された種々の意見を総括し、執行部に対し、次のとおり提言を行いました。

### 提言

予算編成にあたっては、各事業の積算精度の向上、適正化を図ること

## 総務企画委員会

今期定例会では、条例の一部改正3件、その他1件を審査し、原案を可決しました。また、請願1件を審査し、賛成少数で不採択としました。

### 条例等の一部改正

**委員** 法人市民税率を下げ、軽自動車税率を上げる今回の条例改正により、市税収入にどのくらい影響があるのか。

**税務課長** 平成25年度を基準とした場合で約1億円の減収となる。また、軽自動車税は、原付自転車50cc以下で平成27年度から3百万円、その他の原付自転車

を含めると平成27年度は7百万円の増収になる。3輪以上の軽自動車では平成28年度より約1千万円ずつ増収になると算定している。

### 委員

当市の地方交付税にどのような影響があるのか。

**税務課長** 法人市民税の税率引き下げ分が、地方交付税の原資となるが、その総額が増えなければ地方への配分は増えない。影響の度合いは、地方交付税の総額によるので判断は難しい。

**委員** 新車登録後13年を超えるものについては、概ね20%の重課を導入することについて本市の考え方は。

### 税務課長

現在の車に比べ、13年を経過したものは、〇〇やZ〇〇などを多く排出する。物を大切に

### 〇〇討論〇〇

**反対** 税制度の抜本的改革もないまま、大企業ばかりが優遇され、地方自治体に負担をかける制度である。

また、市民の生活の足として活躍する軽自動車に対し、増税することに対し反対。

### 集团的自衛権の行使容認に反対する請願

### 〇〇討論〇〇

**反対** 請願趣旨の中に、同意できない文言が多々あるので不採択。

**賛成** 憲法第9条を持つ国から、海外で戦争をする国にし

# 委員会報告

てはならない。また、国民の議論抜きに解釈改憲をすることは、多くの地方議員も反対していると思う。時の政権の解釈で立憲主義が否定されることに強く反対するので採択。

請願は不採択となりましたが、憲法解釈を変更することには慎重な検討が必要であると考へ、「集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書」を提出しました。

## 建設市民委員会

今期定例会では、市道の認定及び廃止について審査し、全会一致で原案を可決しました。

## ◆空き家等の適正管理に関する条例◆

当委員会では、2年をかけて調査・研究を行ってきた条例案

ですが、国において「空き家対策の推進に関する特別措置法案」が上程されるとの報道があり、当委員会は、予定していた6月議会への上程を見送っていました。

ところが、先の通常国会には上程されなかったため、市議会は7月10日から31日までのパブリックコメントを経て、8月12日の第4回臨時議会において条例案を上程する予定です。

## 教育福祉委員会

今期定例会では、条例の一部改正1件、条例の制定1件、請願1件を審査し、全会一致で原案を可決し、請願を採択しました。

## 正 幼稚園の設置に関する条例の一部改正

委員 この改正によ

り入園料等減免となる生活保護世帯は何件になるか。

## こども課長

本市においては、瀬田幼稚園が対象となるが、現在該当はない。

## 福祉センターの設置及び管理に関する条例

## 委員

指定管理者制度とすることで、どのような市民サービスの向上が望めるのか。

## 健康福祉部次長

福祉拠点施設として、民間のノウハウを生かして福祉に関する相談、講座、研修会等の市民活動の場を提供できる。

## 委員

使用制限の緩和により、貸し館となった場合、市民にとってどのような利益があるか。

## 健康福祉部長

福祉的な分野で今までの制約をなくし、窓口

を広げ貸し館することで、市民福祉の向上につながる。

## 委員

指定管理者制度を導入するにあたっては、この施設が市民のために有効に活用され、福祉の向上に十分配慮して進めるべきである。

## 〇〇討論〇〇

この議案については、本会議において次のような討論がありました。

## 反対

指定管理者制度を導入しても、利用率がアップするとは限らない。

また、災害時の支援拠点となる施設であり、民間ではなく、市が管理すべき施設であると思うので、反対。

## ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願

## 〇〇討論〇〇

## 賛成

B型・C型肝炎ウイルス感染に対する特別措置法は、裁判上の立証が可能で、ごく一部の救済にとどまっており、多くの医療関連行為による感染者を救済するためには一定レベルにとどまらない

特別な対応が必要であるので賛成。請願を採択したことにより、可児市議会として「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」を提出しました。

## 議会広報特別委員会報告

平成25年第2回定例会以降、13回の議会広報特別委員会を開催しました。議会だよりは、第48号から第52号まで発行されました。第47号から始めた「チョットおしゃまします」は、議員が出向いて、直接インタビューするコーナーで、紙面に親しみが持てるようになったと好評です。

また、第50号からは、議会基本条例の制定や年2回の議会報告会など、以前にも増して活発化した議会の様々な活動を市民の方々に知っていただくために、「議会レポート」のコーナーも設けました。

さらに、ICTを活用した取り組みも進めています。昨年8月には議会ホームページのリニューアルを行い、10月からは議会フェイスブックも始めました。

今後は、さらに市民のみなさんにわかりやすい議会だよりをめざし、委員一同、頑張っていきます。

# ここが聞きたい

※一般質問の紙面については質問議員が作成しています。  
ご不明な点は議員にお尋ねください。

## 富田成輝市長 二選出馬の表明は



おのり 林 則夫

**問** 四代目市長として初任期も後わずかに市制32年の成熟期に高い行政手腕を發揮され、起承転結のホップを手堅くクリアし、市政安定への舵とりとして、魂を入れ込む重大な時を迎え、ハードからソフト、刷新と修復の変遷期に強力なステップとジャンプを指す、二選出馬への決意を伺う。

**市長** 清潔、公平、実行を基本姿勢として、諸施策の実現に全力を傾注してきた。市民の皆様のご支援がいただけるのであ

れば、全身全霊をかけて取り組んでいきたい。

新婚さん、可児市へいらっしやい

**問** 家屋敷の維持管理と自治会加入を義務付けたうえで、庭付き一戸建て空き家を0円で借りられるよう、市役所にヤドカリ係を設けて啓発指導し、民々主導で、

企業の社宅、別宅として空き家を活用し、家賃0円で浮くお金を子育てに充て、義務教育日本一の実現に向け、職住近接を推進して人口10万人を堅持し、一石三鳥による市政伸展の環境としてはどうか。

**企画経済部長** 企業と連携して空き家の活用等、進めていきたい。



安心して子育てできる環境を  
(市総合政策課 提供)

## 高齢者福祉政策の進捗状況は



まさし 酒井

**問** 市長の任期が満了に近づき、市政運営の総括を行う時期であると思う。就任時に表明された高齢者福祉政策の進捗状況は。

**市長** 可児市版地域包括ケアシステムの構築を目指しており、自助としての「歩こう可児302」などの健康づくり、公助として老人福祉施設の整備などを進めてきた。今までの取り組みをもとに来年度以降、早い時期にモデル地区を設定し、このシステムの実証を開始できるよう準備を進めたい。

市民目線の市政運営の成果は

**問** 当初目指すとされた、対話と共感のまちづくりには、情報公開と市民の意見収集、また政策の丁寧な説明が不可欠である。市民との相互理解や距離は縮まったか。

**市長** 企画段階から市民参加で、いじめ防止に関する条例を作る事ができた。市政懇談会を多くの地域で開催し、行政の見解も含めて公表している。事業評価市民委員会を設置して多世代の方々の意見を聞き、事業見直しにつなげることができた。



市役所の包括支援センター窓口

## 土曜日授業実施に向けた検討は



さわの しんの  
澤野 伸

**問** 文部科学省が学校教育法施行規則を改正した。学校週5日制のもと、これまで土曜授業は特別の必要がある場合と例外扱いされてきたが、各教育委員会が自らの判断で自由に実施できるようにした。現在、学習指導要領が改訂され、小・中学校の授業時間が1割増えている。授業日数の十分な確保のための学校週6日制導入の考えは。

**教育長** 教育課程内で行う土曜授業では学力補充や授業時間数の確保を狙いとし

ているが、本市では、週5日制の中で児童・生徒の学力向上に成果を上げている。授業時間数も平成23年度より学校管理規則を変更して、授業時間数の確保に努めている。土曜授業によって時間数を確保する必要はないと考

**土曜日の教育活動への取組みは**



みんな真剣！授業風景

**問** 教育課程外で行う土曜日の教育活動をどう考えるか。

**教育長** 子どもの居場所づくりを推進し、UNICの整備、公民館活動の充実など地域の協力で質の高い豊かな体験活動が土曜学習として整備されているので、さらに推進していく。

## 地域活性化に高齢者の力を



でぐち ただお  
出口 忠雄

**問** 自治体活性化に少子高齢化、人口減少、待機児童、空き家などはマイナス要因である。課題の共通点として核家族化の進行が挙げられる。3世代同居奨励施策の実現を。

**企画経済部長** 核家族化の進行は全国自治体で進んでいる。本市も例外ではない。3世代同居は、子育て世帯が親世帯に子どもを預ける事で就業支援、家計負担の軽減など経済的メリット、同居により孫が祖父母と生活を共にすることで価値観、

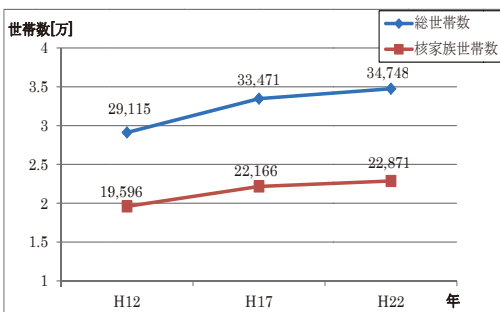
生活の規範を学ぶことができ、孫の面倒を見ることで高齢者の生きがいにつながる。まずは、ニーズを把握していく必要があると考えている。

**高齢者の経済力を生かせ**

**問** 多種多様な高齢者向け商品、サービス提供などシルバークロニクル

マーケットの創出に、民間企業、行政が連携し取り組むべきだと思うが。

**企画経済部参事** 地域経済活性化に、高齢者の経済力は欠かせないと認識している。商工会議所と協力し、各種補助、優遇制度の紹介を行うことで優良企業を支援していく。



可児市核家族世帯数  
参考資料 (総務省国勢調査より)

# ここが聞きたい

## 懸念される介護サービスの低下



とみ だ まき  
富 田 牧 子

**問** 国の医療・介護総合法では、来年度から「要支援1・2」は、介護保険による訪問介護・通所介護が受けられず、市町村総合事業に移される。総合事業で現行と同じような介護サービスが受けられるのか。

**健康福祉部参事** 現時点でサービスを受けている方が、引き続き希望する場合やリハビリ等の専門的サービスを希望する場合は、地域包括支援センターのケアマネジメントを行った上で、従来の訪問介

護・通所介護事業所の利用が可能だ。

新規に要支援となった場合は、リハビリ等の専門的サービス以外は、新たなサービスを受け皿で対応予定。国が示すガイドラインを参考に、サービスの低下とされないように進める。

**Kルートの安全確保**

**問** 先ごろ13コースのKルートが発表さ

れたが、歩道が完備されず路側帯の白線も消えかかっているところがあるが。

**企画経済部長** 現在、ルートの改善箇所の要望など、利活用に向けて、市民から意見を募っている。白線の引き直し等についても対応を考える。



Kルートを紹介する広報かに5月1日号

## 衆人監視で貴重動植物を守れ



おがわ ぶ き  
小 川 富 貴

**問** 市東部の湿地には、ミカワバイケイソウ、シデコブシ、カタクリの群生があり、春にはギフチョウが舞う。これらの貴重な自然の生育を支える水の源地近くが現在開発されており、今後開発が進めば重要な水源を断つおそれがある。自然を次世代に残すための施策は。

**市長** 本市の環境は非常に重要であり後世に守っていかねければならない。徹底して保全、可能なら市民にも見ていただき本市のよさを認識

していただく。開発にあたっては、守るべきは守る姿勢で臨む。

**駅前子育て空間で国際語交流を**

**問** 市内には27カ国、5310人の外国人の方々が居住されている。互いに市民として生き、生かし合える文化・言語の交流の場を体現できない

か。

**企画経済部長** 多様な国の子ども達が幼児期から触れ合い交流することで、互いのコミュニケーションを図る力を身につけることができる場にもなると考える。多文化共生センターとの連携で駅前の賑わいを考えている。



柿下に咲くミカワバイケイソウ

# 小学校ラジオ体操への取り組みは



伊藤 英生  
ひでお とう

**問** 小学校での指導がラジオ体操からストレッチに移り、ラジオ体操の経験の浅い世代が拡大している。夏休みの朝のラジオ体操の運営にも支障をきたしており、地域連携の重要性が叫ばれる中、市はどう対応するのか。

**教育委員会事務局長** 学習指導要領にラジオ体操の実施は示されており、準備運動として、ストレッチでほぐしたり、温めたりするという考えが取り入れられてきている。夏休みの朝のラジオ体操に

ついては、今までどおり、各地域や各種団体等の取り組みを尊重していきたい。

**入札不調の状況と今後の対応は**

**問** 公共工事入札不調となるケースが全国的に増えている。東日本大震災の復興や東京五輪の開催決定、建材や人件費高騰も要因と考えられ

るが、本市の状況と今後の対応は。

**総務部長** 平成25年度入札の建設工事109件中2件の入札不調があったが、深刻な状況には至っていない。予算要求時に比べ工事費が3%程度上昇しているが、今年度は現予算内で工事の執行は可能と考える。



各種団体で取り組まれるラジオ体操

# 肺炎予防接種の実費負担割合



野呂 和久  
のろ かずひさ

**問** 平成26年4月から国は成人用肺炎球菌ワクチンを定期予防接種に加えた。平成26年1月までに地方自治体全体で64%が接種の公費助成を実施しており、肺炎予防の環境づくりが進められてきた。今回、定期接種化されたとはいえ、成人用肺炎球菌ワクチンについては国の費用負担は3割ほどだ。接種対象者の実費負担はあるのか、本市の考えを問う。

**健康福祉部参事** 現在、10月から実施できるよう準備を進め

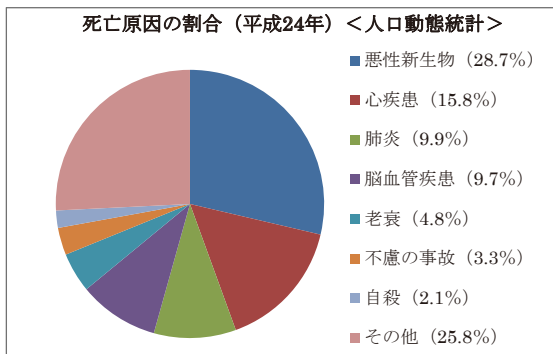
ている。高齢者等インフルエンザ予防接種と同様、一部負担をお願いする。負担額については、接種費用の3割から5割程度を予定している。

**接種対象者への注意喚起策**

**問** 成人用肺炎球菌ワクチンの接種は、5年ほどの接種間隔

が必要と指摘されている。任意での接種後、5年未満の接種対象者への注意喚起など対応策は。

**健康福祉部参事** 周知用のチラシの作成、また広報かやケーブルテレビなどの活用、さらに医療機関へのポスター等の掲示を考えている。



死亡原因の第3位は肺炎 (厚生労働省資料より)



# ここが聞きたい

## クラウドファンディングの活用を



やまだ よしひろ  
山田 喜弘

**問** 自治体主体のクラウドファンディングによる資金調達の取り組みについて本市の見解を問う。

**企画経済部長** クラウドファンディングは、インターネットを利用し不特定多数からの財源確保によるプロジェクトの実現方法であり、資金調達の目的や規模によつては有効な手段であると認識している。しかし、クラウドファンディングを実施しても簡単に資金調達ができる保証はなく、リスクもある。

本市に合った手法

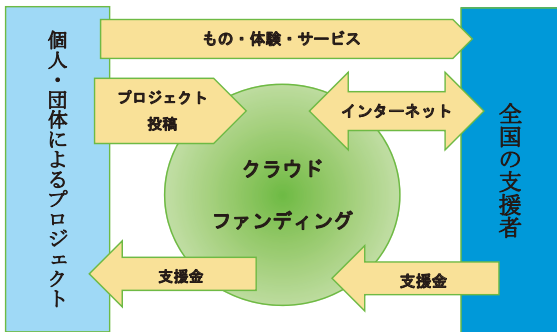
かどうか、不特定多数の人に関心と共感を得られるだけのプロジェクトの立案ができるかどうかが重要な課題となる。

**救急情報ネットワークで見守りを**

**問** 救急情報ネットワークの取り組みについての見解を問う。

**健康福祉部長** 高齢

者等の外出時における救急活動は、高齢者等が安全・安心に暮らすために、本市が取り組むべき課題である。救急情報ネットワークは、高齢者等の安全・安心を確保する道具の一つである。まずは市民のニーズを把握したいと考える。



クラウドファンディングの仕組み

## 防犯灯設置補助金のあり方



いたばし ひろゆき  
板津 博之

**問** 自治会で設置している防犯灯は維持管理費が低減できるLEDへの切り替えが急増しており、設置補助金も年々増額しているが、年度初めに早く申請した自治会に交付されているのが実態である。今後、補助制度を見直す計画はあるか。

**総務部長** 市内全体の灯数を3000灯とした場合、計算では2年後に全てがLED化する。現在の補助制度ではLEDへの更新数が多いが、今後は新設を優先してLEDへの切り替

えは、残りの予算で順次行っていく方向で検討していく。

**キッズクラブの管理体制は万全か**

**問** 市内には10カ所のキッズクラブがあるが、侵入者等に対する非常時のマニュアルは整備されているか。

**健康福祉部長** 非常

時対応のフローチャートを作成して対応できるようにしているが、侵入者等に対する非常時訓練については実施ができていない。今後、小学校等で実施している訓練を参考に実施するよう計画していく。



維持管理費が低減できるLED防犯灯

## 地下化を今後求めない理由は何か



伊藤 健二  
いとう けんじ

JR東海の計画を基に本格的協議に入り、解決策を模索していきたい。

リニア地上走行から住民の防護を

**問** 市長がリニア建設ルートの地下化を今後求めないとした理由とその考えは何か。

**市長** 「美濃桃山陶の聖地」久々利大萱地区を守るため、地下化を求めてきた。県環境影響評価審査会後の知事意見では、地下化の方向に至らず残念だ。地下化だけを求め、具体的な協議に応じないことは、地区のためにならないと判断した。歴史文化的価値を後世に残し、住環境への影響について現実的な対応を図るため、

**問** 地上走行では生活環境、文化財等、深刻な被害が予想される。どう対処するか。

**市長** 残土問題、地域の生活環境や、陶

工の制作課題等、多くの難題がある。現実的な解決策を模索していく新段階になり具体的な協議に入る。大萱古窯跡群の重要性は高く認識し、引き続き調査をし、国指定史跡をめざす中で、計画との共存方策を関係者と協議していきたい。



大萱地区のリニア地上走行予想図  
出典：JR東海「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書資料編【岐阜県】」

## やすらぎの森は活用されているか



山根 かずお  
やまね かずお

う方たちの知恵や力をお借りして、管理していくという方法も考えていきたい。

市民課窓口業務の外部委託

**問** 本市を代表する公園のひとつに『可児やすらぎの森』があるが、あまり利用されていないと感じる。

**市長** 残念ながらそれほど使われていない実態はある。今の形を保持しつつ、子どもから高齢者までが、健康づくりに使えるように進められると良い。市が管理するといふ形もあるが、地元の方でもっとこの公園を利用したいとい

**問** 市民課の窓口業務の一部が外部へ移管される。これに伴い経費は増加する。市民サービスの向上につながるのか。

**市民部長** 現在の人

員体制に比べ、年間約460万円の経費増となる。しかし、窓口の混雑状況に応じた適切な人員体制など、民間事業者の創意工夫による業務実施により、継続的に安定した窓口サービスが提供できると考える。その他の一般質問『卒業後の障がい者の就労支援の状況は』



帷子地区にある可児やすらぎの森

# 議会報告会

可児市議会では「議員と語ろう」と題して議会報告会を開催しました。

議会報告会では、議会の活動を市民の皆さんに知っていただき、意見交換を通して頂いたご意見を、これからの議会活動に生かすことを目的としています。

今回の報告会場は、5月17日広見公民館、5月18日土田公民館、5月24日帷子公民館で、議員を3班に分けて開催しました。

土田公民館では名城大学の学生も多数参加いただくなど、3会場で延べ95名の方に参加いただきました。

今回は、主に平成26年度の当初予算審査と空き家問題への対応について報告しました。

## 予算審査結果報告

3月の定例会で市の新年度予算が決まる仕組みと議会の役割について説明を行いました。その他、昨年9月定例会における決算審査を通して、更なる施策の充実を求め、市長に対して行なった提言が、平成26年度予算にどのように反映されたかについて資料配付を行いました。

※提言への対応内容は議会だより第51号を参照。



広見公民館会場

また予算審議にあたり特に関心の高かった事業である社会貢献システムモデル事業、駅前子育て等空間創出事業、在宅医療・介護推進事業について報告しました。

## 空き家問題への取り組み

少子高齢化が進み、全国的に空き家の増加が懸念されており、その中でも管理不全な空き家もたらす様々な問題には、適切かつ速やかな対応をしていかなければなりません。

そのために空き家の適正管理に関する市の基本的な考え方や対応を、体系的にまとめた条例を制定し、所有者等の責務を明らかにするとともに地域とも連携しながら、総合的な取り組みを図っていく



土田公民館会場

必要があると考えています。

可児市議会では老朽空き家問題への対応を図るべく、建設市民委員会にて市内の状況調査や先進地の視察を行い、また、市の都市計画課や環境課など関係部署と協議をしながら行った、条例案の作成に向けた取り組みを報告しました。

## 主な質疑・意見交換

問 社会貢献システム事業の予算額約8400万円の内訳は、

答 Kマネーで交付

する住宅リフォーム助成金や商工会議所の助成金等が、約3157万円、長寿の集い記念品や商工会青年部の東海大会奨励金等が約727万円。また、これらのKマネー換金用の資金として銀行に預ける預託金が3885万円。他に事務費が約636万円である。

問 空き家になる前の対策も今後、必要ではないか。

答 既に空き家になつてしまったものについては、平成24年度から空き家・空き地バンクを実施している。しかし、これから若い世代が引き続き可児市に住んでいただくための魅力ある施策は、みなさんのご意見も参考に、議会として考えていきたい。

問 可児駅舎の改築が駅前の賑わい創出

のために必要ではないか。

答 J Rおよび名鉄の総合橋上駅の建設が可児駅東土地区画整理事業で検討されたが、高額な建設費を本市が負担しなければならず、断念した。ただし、2年後を目途に地下道にかわる東西自由通路の建設をめざしており、エレベーターを設置したバリアフリー化を行い、乗降客だけでなく自転車でも通過できる構造として計画を進めている。



帷子公民館会場

# 議会レポート



このコーナーでは、議会が本会議以外で行っているさまざまな活動を、写真で報告していきます。



## ▲教育福祉委員会懇談会

(5月19日)

教育福祉委員会では可児とうのう病院との懇談会を行いました。病院の概要、および市が出している医療機器充実補助金の平成25年度の使途実績と平成26年度の使途予定などについて説明していただきました。



## ▲議会運営委員会懇談会

(6月16日)

議会運営委員会委員と自治連絡協議会による懇談会を行いました。「議会改革」をテーマに、活発な意見交換がなされました。

## ▼請願勉強会

(6月6日)

今議会に提出された「集团的自衛権の行使容認に反対する請願」の審査のために、平井治彦弁護士をお招きし、集团的自衛権に関する勉強会を開催しました。



## ▼教育福祉委員会現地視察

(6月19日)

教育福祉委員会では、市内保育園と市内中学校を視察し、現状と課題について職員から説明を受けました。



# 議長交際費・政務活動費

## 平成25年度 議長交際費を公表

議長交際費とは、議長が議会を代表し対外的な活動をするために、予算の範囲内で支出する経費です。

区分	件数	支出額
慶祝	0件	0円
見舞	0件	0円
弔慰	4件	43,650円
会費	22件	220,000円
協賛・賛助	0件	0円
その他	0件	0円
計	26件	263,650円

※議長公務の内容は、ホームページやフェイスブック等で公開しています。

## 政務活動費の使い道を公表

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市議会議員には一人当たり年額24万円が各会派または会派に属さない議員へ交付されます。各会派等は、毎年、収支報告書に1円から領収書を添付し、議長に報告しています。また、議長は半期に一度チェックを行い、透明性の確保に努めています。各会派等は残額がある場合は、市に返還しています。

会派名または議員名	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残額(円)
誠颯会	10	2,400,000	2,400,000	0
自民クラブ	2	480,000	166,213	313,787
民主ネット可児	2	480,000	416,398	63,602
可児市議会公明党	2	480,000	419,169	60,831
日本共産党可児市議団	2	480,000	431,892	48,108
新当クラブ	2	480,000	93,962	386,038
小川富貴 議員	1	240,000	54,033	185,967
計	21	5,040,000	3,981,667	1,058,333

会派または議員名	支出額	支出内訳					
		調査研究費	研修費	広聴費	資料作成費	資料購入費	事務所費
誠颯会	2,400,000	1,399,526	852,614		64,833		91,034
自民クラブ	166,213	81,342		40,624	34,116	4,800	5,331
民主ネット可児	416,398	78,203	90,920		38,388	23,848	185,039
可児市議会公明党	419,169		236,967		103,545	12,600	66,057
日本共産党可児市議団	431,892	121,221	164,860		1,763	111,608	32,440
新当クラブ	93,962	77,984				15,750	228
小川富貴 議員	54,033					4,163	49,870
計	3,981,667	1,758,276	1,345,361	40,624	242,645	172,769	429,999

※誠颯会の支出内訳には、会派負担分8,007円を含みます。

●問合先 議会事務局 TEL (0574) 62-1111 E-mail:gikai-dayori@city.kani.lg.jp

# 地域のかがやき地域の笑顔

## 帷子 水防訓練



応急物資によるタンク力搬送を指導

## 平牧 さつまいもの苗植え



どこに植えようかな？

## 広見東 明智大学開講式



春うらら 二胡コンサート

## 第5回定例会のお知らせ

9月2日	議案提案説明
2～3・16～18・26日	予算決算委員会
10～12日	一般質問・質疑
19日	総務企画委員会
22日	建設市民委員会
24日	教育福祉委員会
30日	最終日
	(委員長報告・討論・採決)

会議は午前9時開会の予定です。  
日程は、都合により変更となる場合もあります。

### チョット

### おじゃまします



\*このコーナーでは、議会広報特別委員が直接お伺いして聞いた、読者の声をお届けしていきます。今回は山口委員と出口委員が、可児夏まつり実行委員長の山川和仁（やまかわ かずひと）さんにお話を聞いてきました。

**広報委員：**可児夏まつり実行委員会を構成している可児商工会議所青年部とは、どのような団体ですか？

**山川さん：**可児市内の商工業者である45歳までの若き担い手で構成する団体で、自己研鑽や事業経営のために様々な活動を行っています。

**広報委員：**主な活動は何ですか？

**山川さん：**「夏まつり」の企画運営、「冬の螢」と言うイルミネーションの設置運営、その他講師例会や交流会などを行っています。

**広報委員：**可児夏まつりの目的は何ですか？

**山川さん：**市民の皆様楽しんでいただくと共に、地元から離れている人たちに、帰郷していただいて昔の懐かしさを感じていただくために運営しています。

**広報委員：**今年の夏まつりのイベント内容は何ですか？

**山川さん：**吹上花火、盆踊りを8月9日(土)に行い、10日(日)には子どもが楽しめるようなキャラクターショー、魚つかみ、ダンスなどのイベントを考えています。

**広報委員：**議会だよりを読んだことはありますか？

**山川さん：**少し読んだことはあります。

**広報委員：**議会と懇談する機会があれば、参加していただけますか？

**山川さん：**そのような機会があれば、参加してみたいと思います。

